

ダイオキシン類に係る環境調査結果(平成 19 年度)環境省



The Knights

環境省は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき平成 19 年度に国及び地方公共団体が実施した、全国の大気、水質、水底の底質及び土壌のダイオキシン類環境調査結果を取りまとめて公表しました。

平成 19 年度の各環境媒体における調査結果は、大気 740 地点中環境基準超過地点は 0 地点(0%)、公共用水域水質 1,818 地点中環境基準超過地点は 45 地点(2.5%)、公共用水域底質 1,505 地点中環境基準超過地点は 8 地点(0.5%)、地下水質 759 地点中環境基準超過地点は 2 地点(0.3%)、土壌 1,285 地点中環境基準超過地点は 0 地点(0%)でした。

大気と土壌においては、環境基準超過の地点はありませんでしたが、公共用水域水質・底質、地下水質では環境基準を超過した地点がありました。

今後も、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、ダイオキシン類の環境中への排出の低減、環境調査の適切な実施に引き続き努めるとしています。

当社では、発生源試料(排ガス、燃え殻、飛灰、排出水、廃酸、廃アルカリ、汚泥)、環境試料(一般環境大気、土壌、底質、環境水、地下水等)、作業環境、原水、浄水、実験試料などのダイオキシン類の分析が可能です。

資料 2008 年 12 月 9 日付 環境省 報道発表資料

クロマト分析箇所 山下右祐